



2016年7月11日

ギリシャが残り、英国が出ていく意味

公益財団法人 国際通貨研究所
経済調査部 上席研究員 森川 央

英国の国民投票後、二つのG（Greece, Great Britain）のうち先に英国がEUを出ることになるとは思わなかったと嘆く記事があった。共感する方も多いただろう。英国保守党は次の党首、つまり首相の選出に取りかかっている。現在最有力とされているメイ内務相は「離脱は離脱」と述べており、交渉開始時期を巡って駆け引きを仕掛けているが離脱自体はもはや決定事項となった観がある。ヘイグ前保守党党首もデイリー・テレグラフ紙への寄稿¹で、高い投票率で民意が示された以上、民主主義社会なら尊重するのが当然と述べている。そしてヘイグ自身元々は残留派だったが、6月23日を持って論争は決着したので、保守党は離脱に向けて一丸になってアイデアを出していくべきと述べているのである。

ギリシャもイギリスも国民投票にあたって、EUからの離脱は経済的な「自殺」行為とさんざん脅された。だが脅しはギリシャには効いたが、イギリスには効かなかった。この違いはギリシャがEUから支援を受ける受益国であるのに対し、イギリスは支援をする負担国であると、少なくともイギリス人は考えていたからであろう。

この点について、コロンビア大学のスティグリッツ教授が興味深い指摘をしている。イギリスは欧州の中で、成長率でみても失業率でみても優等生である。そのイギリスで不満が昂じているのはなぜか。実はここに、今回の問題の本質がある。移動の自由が認められているEUの中では、失業を減らすため雇用機会の創出に努力をした国ほど、結果的に圏内、圏外含め移民を引き寄せることになるからだ。そして、そのとぼっちり（賃金の停滞や雇用の争奪激化）を最も受けるのは、物価の下落というメリットはあるにしても、低所得者層である。また中間層も税負担の増加を懸念する。EU、IMFなど国際機関、内外メディアにさんざん脅されながらも、英国民が離脱を選択した背景には、終わりの見えない移民受け入れへの不安があったのだろう。²

そして、この問題がもたらしたショックはEU側にも大きい。ニューヨーク大学のルー

1

<http://www.telegraph.co.uk/news/2016/07/04/we-conservatives-are-all-leavers-now-we-must-unite-to-build-a-ne/>

2

<https://www.project-syndicate.org/commentary/brexit-future-of-advanced-economies-by-joseph-e--stiglitz-2016-07>

ビニ教授も、英国離脱について興味深い視点を提供してくれている。³

同氏によると、欧州の問題は中道政党への支持が下がり、極端な主張を掲げる政党が支持を伸ばしていることである。但し、その中にも二つのパターンがあり、ギリシャなどいわゆる周縁国で支持を集めているのは左派である。イタリアの五つ星運動、スペインのポデモス、ポルトガルの左翼ブロック、共産党などに代表される。これら諸国はEUの受益国で分配の公正を求める傾向が強い。

一方、EUコア国で支持を伸ばしている極端な勢力は、ドイツの「ドイツのための選択肢」、フランスの国民戦線をはじめとして、オーストリア、オランダ、デンマーク、フィンランドなどで存在感を高めているのは右派政党である。で、これらの国に共通するのは高所得国で、EUを通した所得移転つまり負担への不満が溜まってきていることである。

このように整理してみると、イギリスが離脱を決めた直後、スペインの総選挙で残留派が勢力を多少ながら回復したことは意味深長である。残りたい国と脅しを受けても出たい国がはっきりしたからだ。今後、負担国では「一抜け」した英国の負担分の押し付け合いが始まる可能性がある。英国のEU離脱は、暫く沈静化していたEU内の「南北問題」を、再び表舞台に引きずり出したといえよう。

3

<https://www.project-syndicate.org/commentary/globalization-political-fault-lines-by-nouriel-roubini-2016-07>

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべて御客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。